

生活科 部門

文部大臣奨励賞

「みずのひっこ」

岐阜県柳津町立柳津小学校

一年 岩田 隆之介



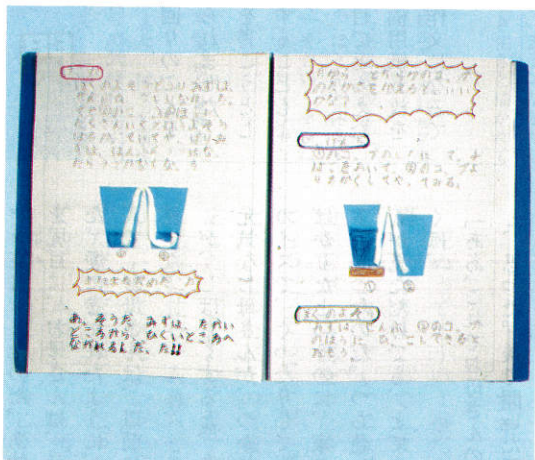
☆総評☆
今年はお薦作品数も大幅に増え、観察力・表現力に優れたレベルの高い作品が集まりました。身近な興味や疑問からテーマを選ぶことが大切です。調べてまとめるだけにとどまらず、それを自分の生活に生かしていくためのもう一步の踏みこみが望まれます。

手を使わずにコップの水を別のコップへ移す、という課題に対し、自分なりの考えで試行錯誤している姿勢が高く評価されました。

身近な発見からの発想が素晴らしい、また、非常に簡単で的を射た実験でテーマを追求したアイデア作品です。
また、実験の予想と結果を分かりやすくまとめ、発展的な実験をも行うという、科学的態度で取り組んだ秀作ともいえます。

「きょうしつで、バケツにぞうきんをかけておいたら、あらつけないのにぬれていたよ。おかしいな?」という疑問から、どうしたら手を使わずにコップの水を引っ越しさせることができるか、という問題に取り組んでいきます。

水にひたすちり紙の長さ・太さ・数を変えたり、コップの位置を高くしたり、いろいろな方法で実験した末に、とうとう引っ越しの術を会得しました。また、砂糖水やしょう油でも試すなど、技に磨きをかけることも忘れていません。



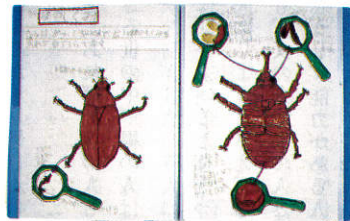
優秀賞



「わたしのだいすきなかつむり」
東京都白百合学園小一年

吉野摩耶

「かたつむりはキリンに似ている」「口の形いろいろ」など、自分なりの視点から、鋭い観察力で記録しています。また、観察による発見と本で調べたこととを照合して、「みんなにもおしえてあげたいこと」という形でまとめるなど、表現力・まとめ方が素晴らしい、かたつむりに対する愛情が伝わってくるような作品です。



「ばくのかぶと虫ものがたり」
岐阜県瑞浪市立瑞浪小二年

辻 智之

去年飼っていたカブトムシのたまごから、六匹のカブトムシが生まれました。王さま・だいじん・コック長・女王・ひめと名前をつけて、愛しながら観察しています。食べ物の好き嫌い、力の強弱、誰が仲が良くかなど、それぞれの個性までを知ろうといういろいろな実験をして丹念に記録した意欲作です。

その他の受賞作品

- ◆優秀賞 「おいしい水がのみたいな。」(岐阜県岐阜市立鷺山小一年) 吉田泰之 「アサガオの色水はどうしてきえてしまったの?」(愛知県愛知教育大学附属岡崎小一年) 林大地 「よくとぶかみひこきについて」(神奈川県茅ヶ崎市立茅ヶ崎小二年) 弓折太平 「ぼくの走る船」(岐阜県瑞浪市立瑞浪小二年) 小栗優来 「つばめのいのち」(岐阜県瑞浪市立瑞浪小二年) 加藤まなみ 「あさがおの なんでもはんぶんゲーム」(岐阜県瑞浪市立明世小二年) 成瀬沙也加
- ◆佳作 「わたしがみつけたダンゴムシ」千葉県流山市立流山小一年 鈴木堂 「ばくとぼんたのなつやすみ」(岐阜県柳津町立柳津小一年) 坂井田知寛 「ボーチュウカさんはあめがきらい?」(岐阜県瑞浪市立瑞浪小一年) 土屋輝奈 「ろうじんぼーむつてどこなん?」(京都府京都市立藤ノ森小一年) 坂岡大路 「ドライアイスのふしぎとドライアイスでつぼう」(東京都東京学芸大学附属小金井小二年) 国安臨太郎 「もののおこりかた」(神奈川県茅ヶ崎市立室田小二年) 石井航太 「たべものしらべ」(岐阜県柳津町立柳津小二年) 杉山陽子 「かいわれ大こん」(岐阜県笠松町立笠松小二年) 佐藤明紀 「マキのザリガニにつき」(岐阜県岐阜市立長良西小二年) 細江万紀